へ13
3697
2

梅蘭芳西遊保姑羅通夜譚

柳亭仭國貞畫

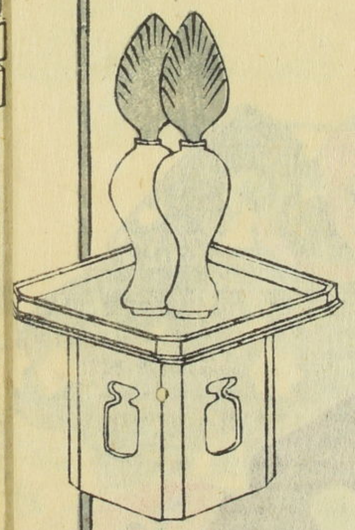
二編上

門へ13
號3697
巻2

花初通東鑑

柳亭種彦著
梅堂國貞畫

二篇
上巻



當春柳島ゆ偶居し嘉月既望吉川一流彼方の茂林の鶯を初て聽其へより朝晩の友とする折〳〵ゆ此初編不圖ゑ出版を開巻ゆ用ひつゝ先年諸國の續貂摂津巻ゆ異るゝれば東宰府神支の頃故鷺を換んと考へ猶も物ゑ彈丸とせゝ室町源氏の鄙翁が所爲ゆ比等と心づたへ此上岡目ゆ視たゝら重復いゝと筆へる場ド老ぬまゞ同ド上のこゝせゝられけりと順朝臣の詠せゝれしゆ順ゑとゆ物忘まゝ見者老毛の癖と海容〳〵て胡蝶巻の鉄炮玉の當りゆ劣らぬ勾玉の曲ゝゝりゆも又書綴まる鼠祠チユツ位と貶〳〵のと心鷺聲の玉を轉ゝゝて球毛ブリ〳〵の遊戯ゝ代童稚輩も御高評ゝゝ

慶應三年新刊
同二年中呂著

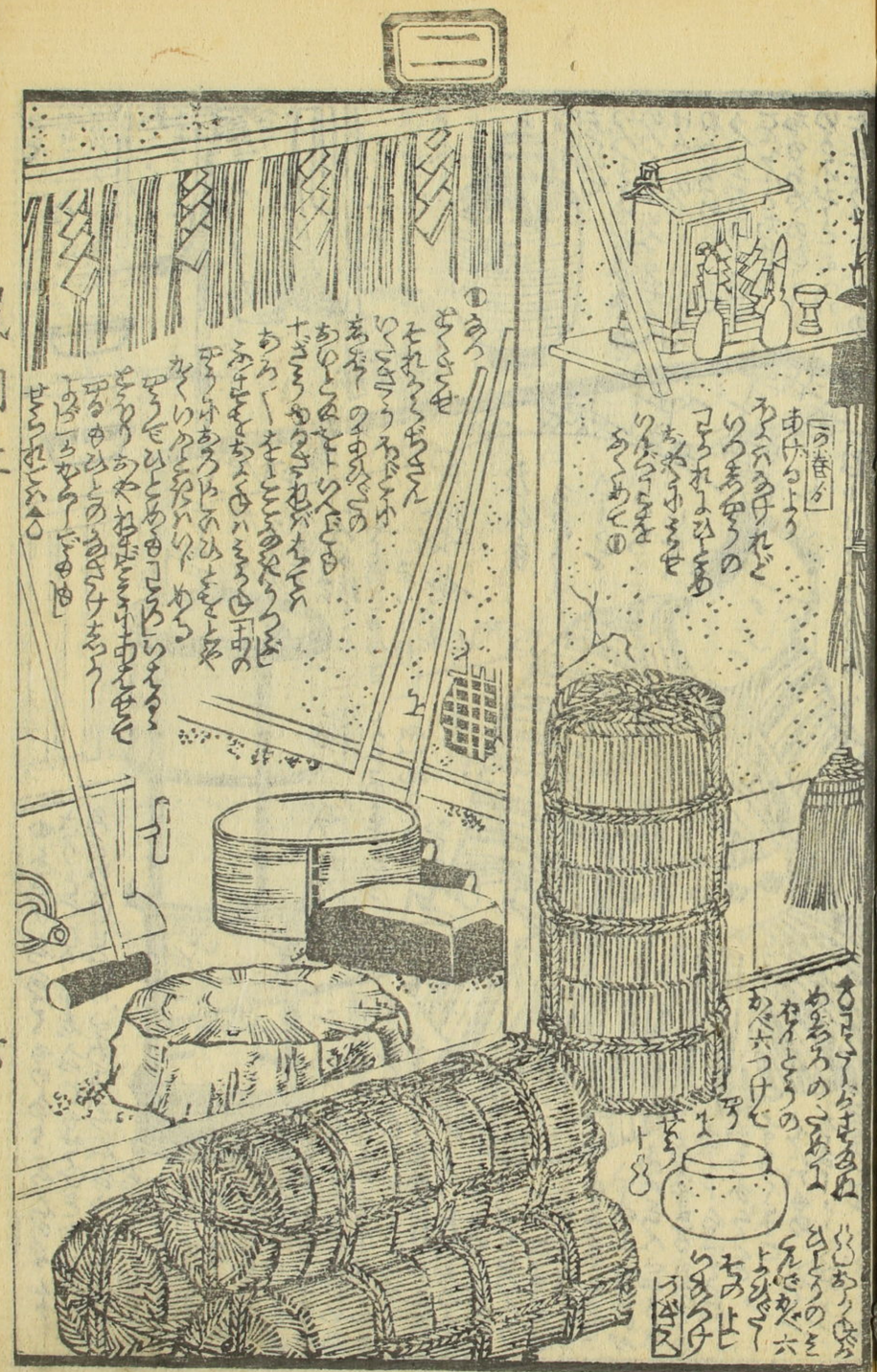
柳亭種彦

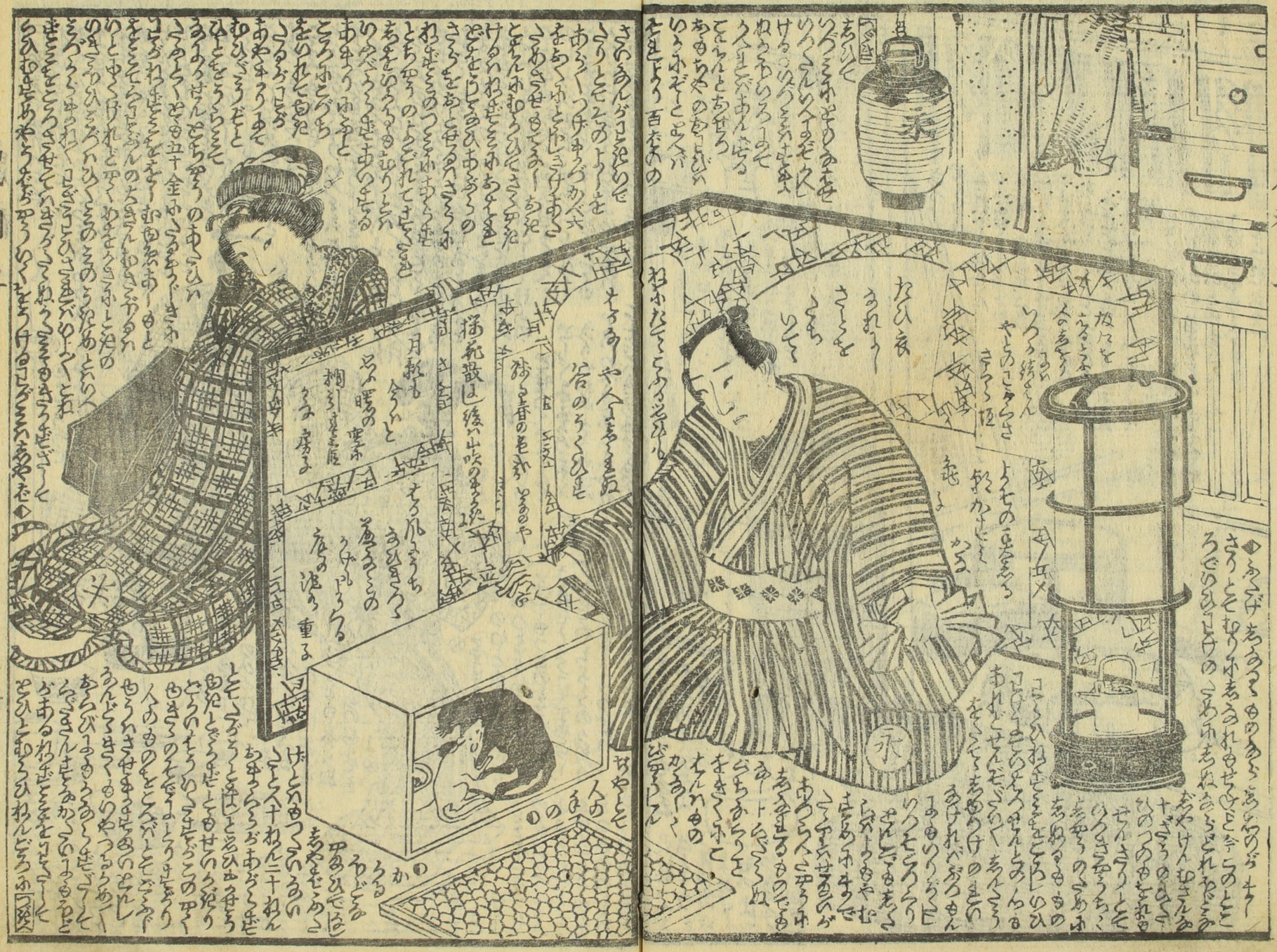
了髮市郎
最明寺道崇

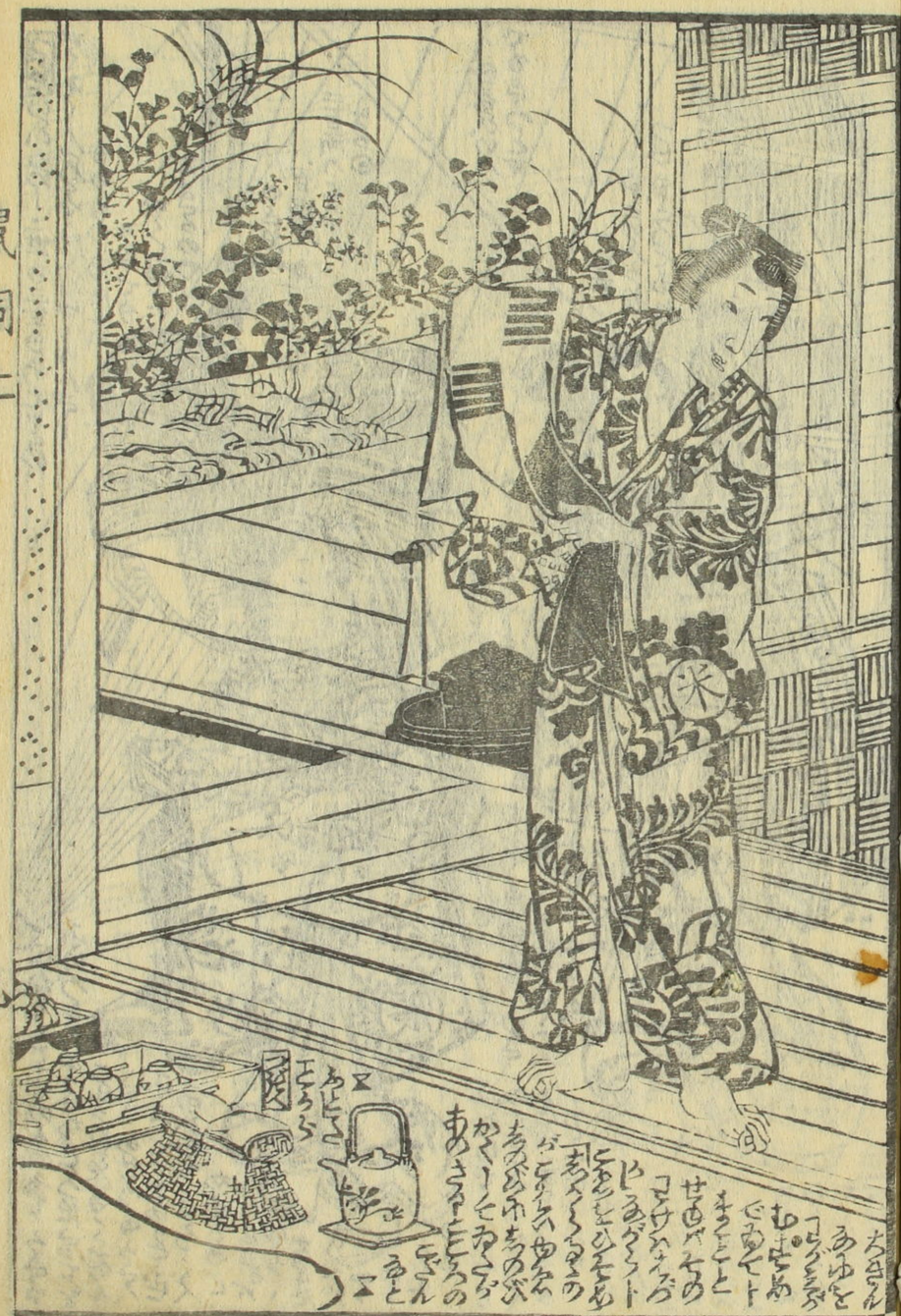
室賀峠

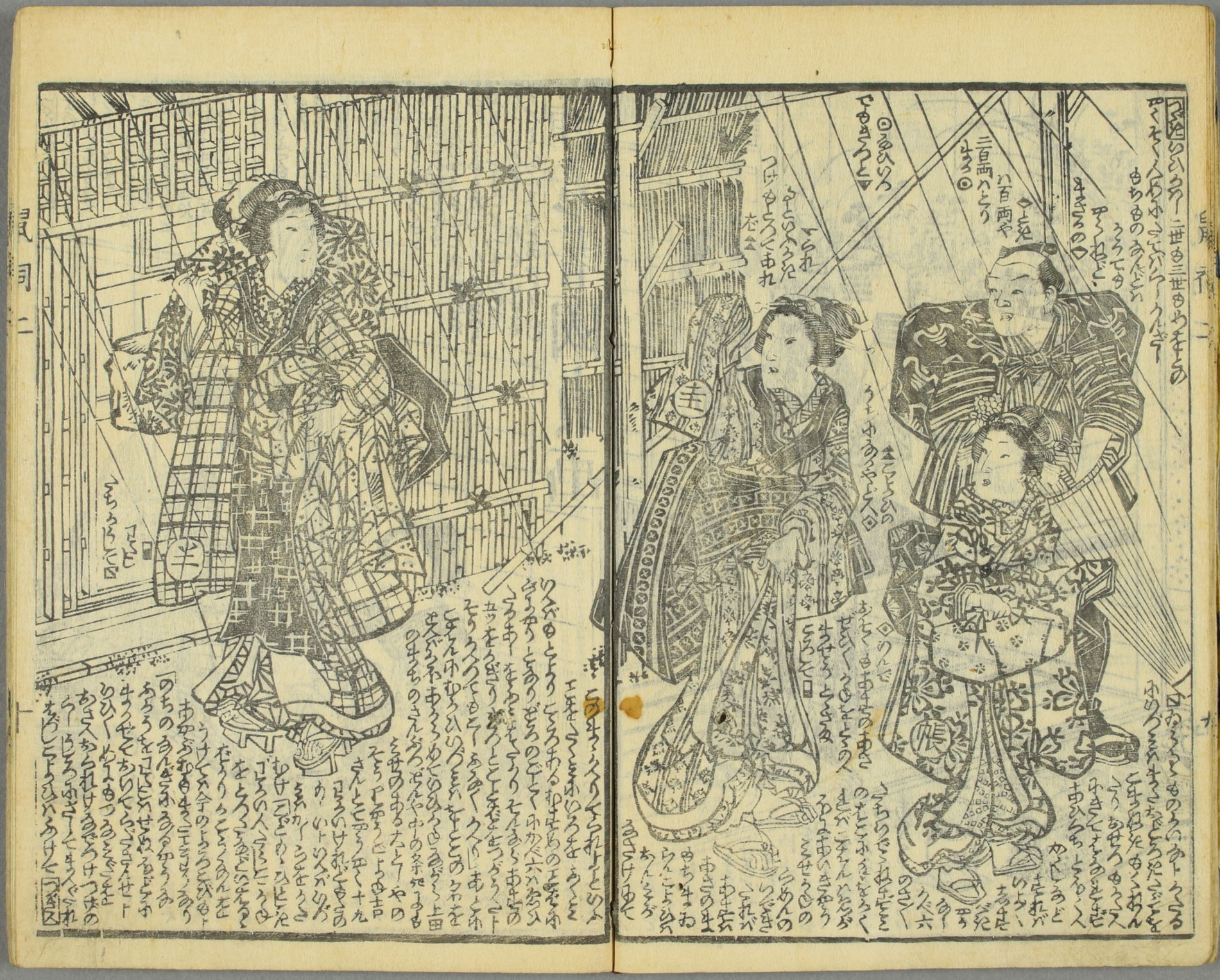
埴科郡

兼永母









本家
實母散
松方実母さんの義八中から一朝ちん出町一丁目西ゲン
向ゆらく引ゆ十いろ
中橋南傳馬町一丁目
千葉堂孝輔製

新局九尾傳

四編 九編 出板仕い

爲永春水作
梅蝶樓國貞画

鼠祠通夜譚

初へんより 追々出板

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

卯春刻

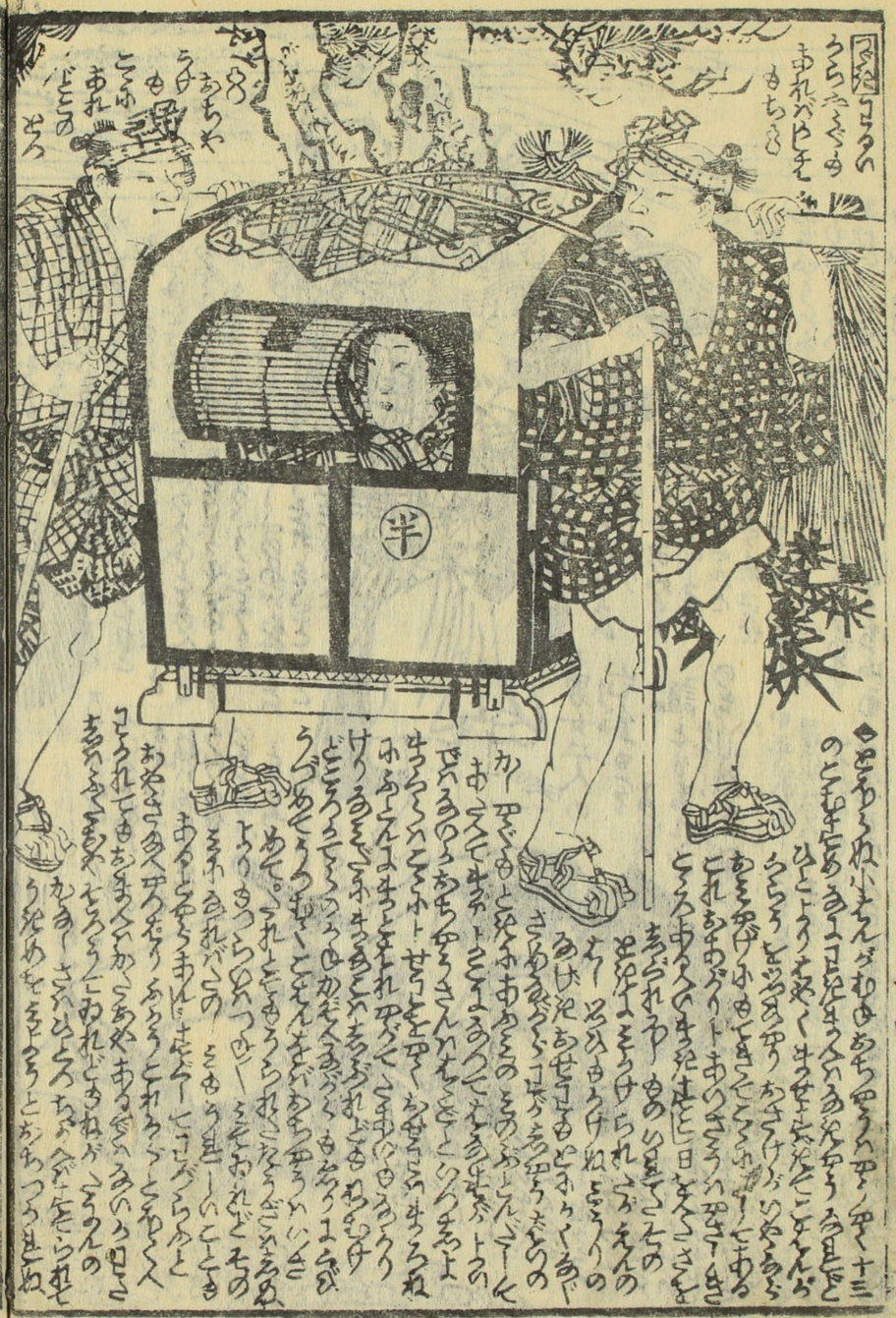
信州鼠の里ある和泉小僧と云少年鎌倉殿の昵近三浦二階堂其餘諸大家ゆて許多の財寶を盗み名を高くせ〜物語耳新〜紀奇聞和州山辺氏の奥廢の事蹟ゆ綴合せてるり預高評を希ふ

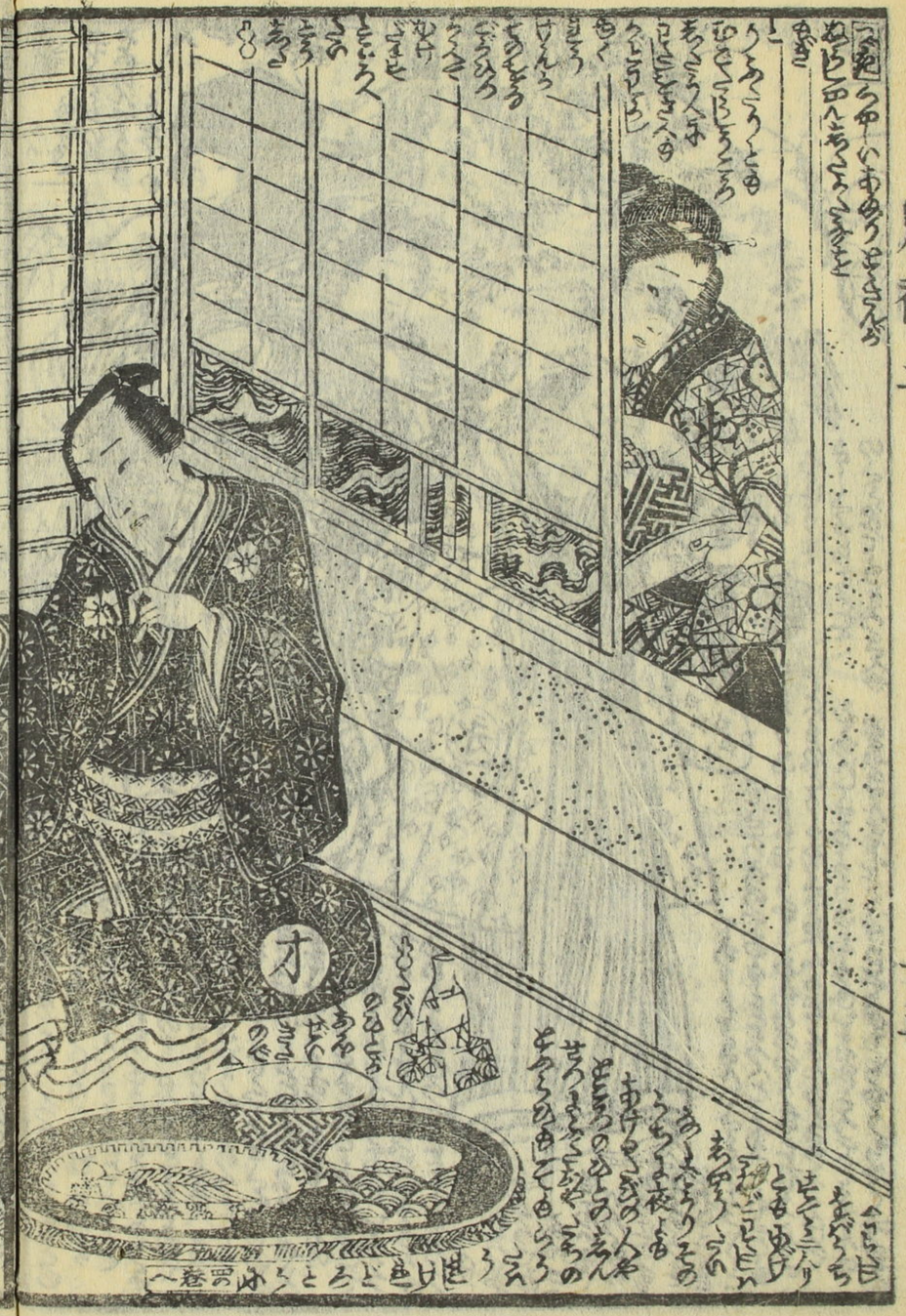
二編下
柳亭
扶元

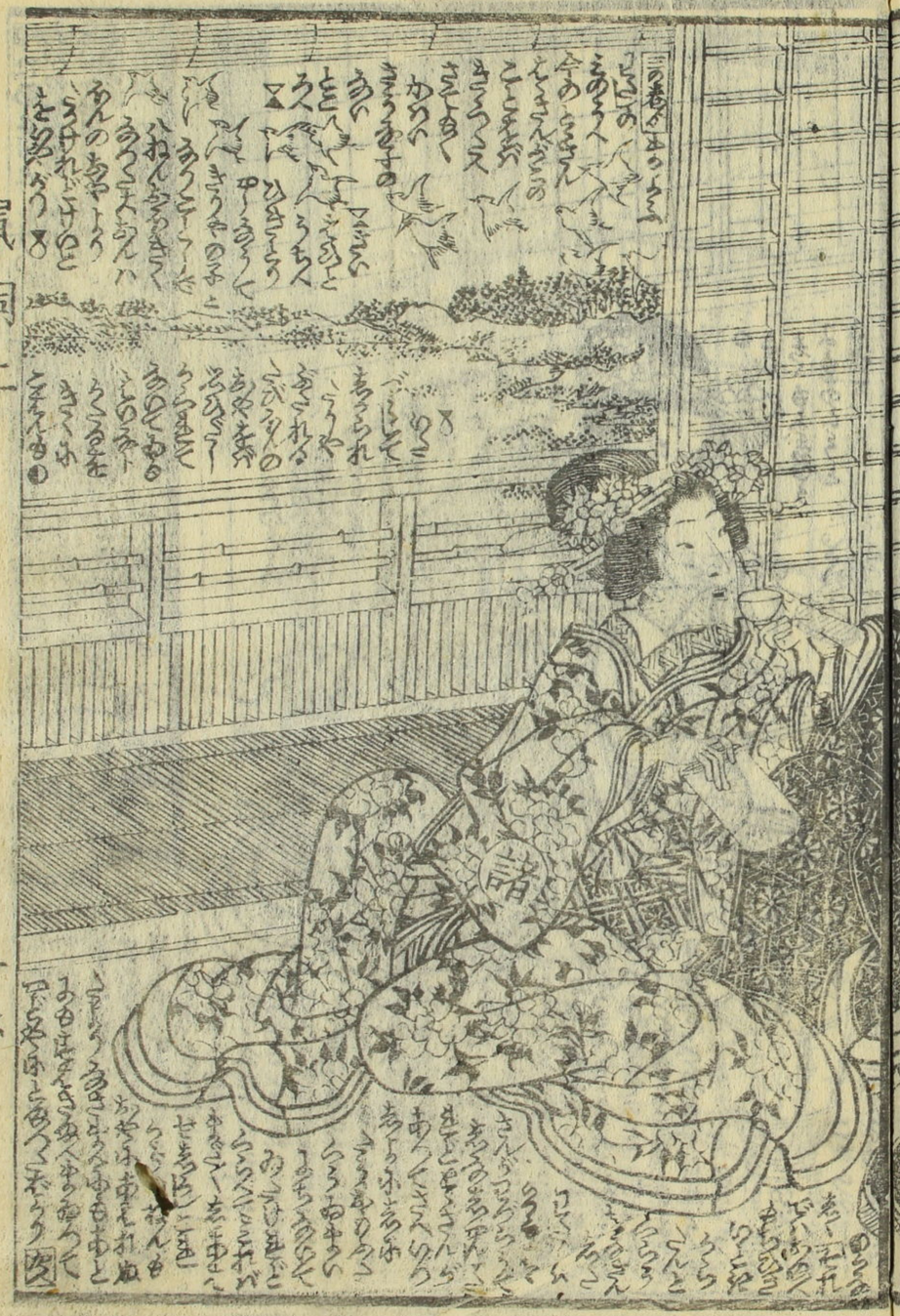
麻頭躰西廣衣
許羅通野譚

多田愛山 著
たたあやまる

二篇下







七夕ぎ萬錦譚　六編より九編まで　柳亭種彦作　梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷　九篇　十篇　十一篇　十二篇　種彦作　國貞画

筆海四國聞書　十編　十一編　十二編　種彦作　國貞画

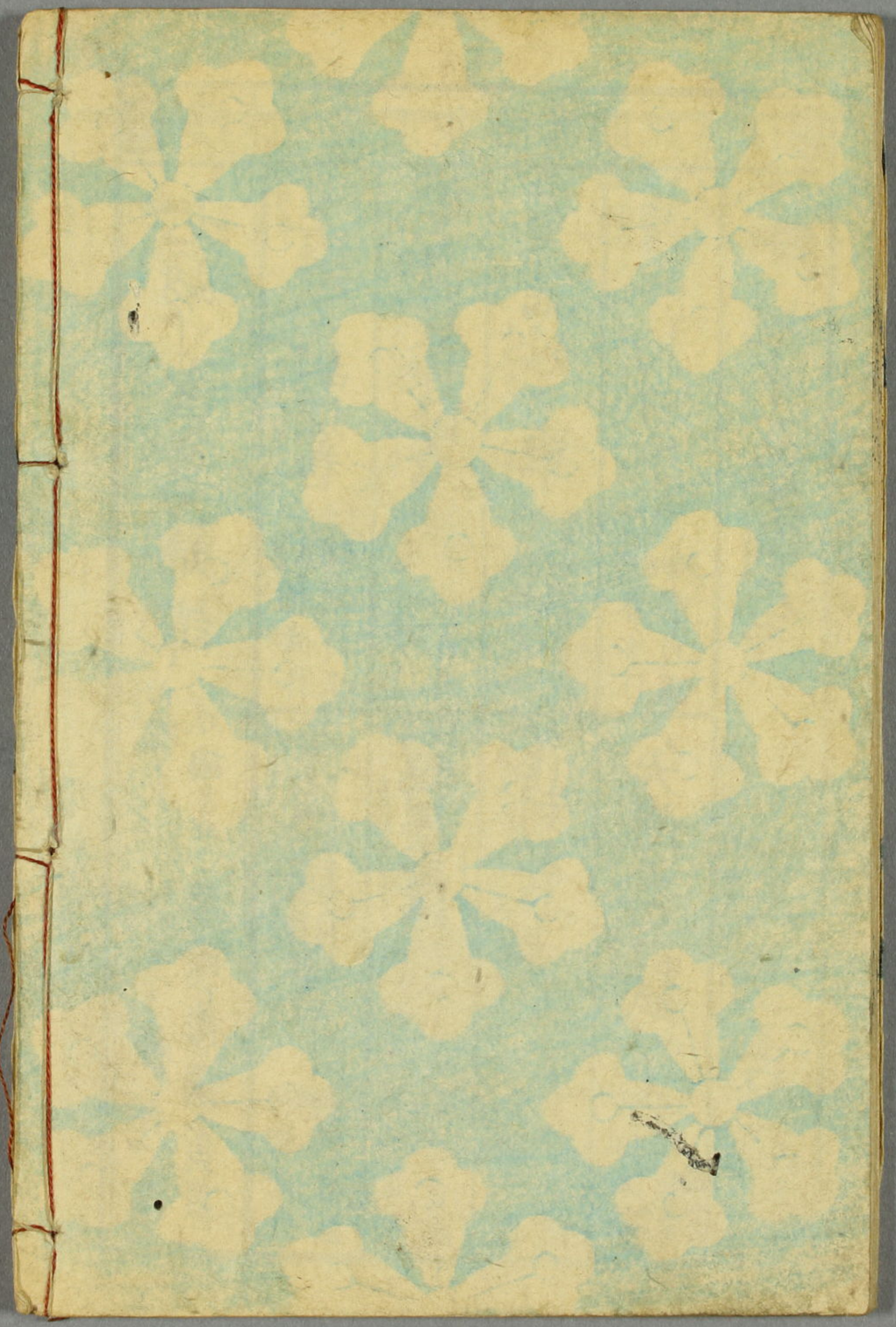
傾城情談戀畦倉　四編　如泉作　大尾　國貞画

明鴉墨画迦禍福　十二編　十三編　十四編　種彦作　國貞画

童謡妙々車　廿一編　廿二編　廿三編　種彦作　國貞画

花封茗呂五章　十編　種彦作　大尾　國貞画

薄俤幻日記　十六編　十七編　十八編　春水作　國貞画

犬傳犬の双紙　四八編　四十九編　柳亭錄　國貞画

地本双紙問屋
南傳馬町壹丁目
蔦屋吉藏板